

引き取り訓練がありました

5月29日(月)の引き取り訓練には、お忙しい中、皆様にご参加いただきありがとうございました。あいにくの雨の中での実施となりましたが、保護者の皆様にご協力いただき、滞りなく終えることができました。本年度は、大規模な地震が発生したことを想定しての引き取り訓練でした。来賓玄関からお入りいただき、5年生、4年生、3年生、2年生、1年生、6年生の順に各教室でお子さんを引き取っていただき、児童用の昇降口から帰っていただくという方法をとりました。実際の場面では、運動場や体育館、十四山支所で避難していることも考えられます。様々な場面を想定して日頃から災害に備えていきたいと考えています。

5月31日には、沖縄県にJアラートが発出されました。6月2日には、台風の影響で大雨となりました。今一度、4月14日に、れんらくアプリで教育委員会から配信されたお便り「児童・生徒の登下校について」をお読みいただき、学校の対応や、登下校中の行動の仕方についてお子さんをご確認いただきますようお願いいたします。

保護者学級と親子講演がありました

6月10日(土)に保護者学級と親子講演がありました。多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。親子講演では、中学2年生の時に東日本大震災とその影響による津波を経験された川崎杏樹さんを講師に招きご講演いただきました。地震が発生した直後、釜石東中学校の生徒さんや川崎さんは、すぐに高台をめざして避難を始めたそうです。日頃から「津波が来る」ということや、そのときは「とにかく高いところへ向かって逃げる」ということを周りの大人たちに教えられてきたとも話してみえました。講演を聞き、日頃から、地震が来たらすぐに命を守るための行動をとれるように、心を備えておくことの大切さを改めて思いました。

十四山東部小学校では、年に3回避難訓練を実施しています。本年度の計画は次のようです。

- ・1回目 4月14日(金)に実施済み

震度5弱の地震が発生したという想定で、ゆれが収まってから運動場南側のタイヤの前に避難。その後、津波を想定してライフジャケットを身に着ける訓練。

- ・2回目 10月20日(金)

震度5弱の地震が発生し、運動場南側で液状化現象が発生したという想定で、プール前のアスファルトのところにヘルメットをかぶって避難(あるいは、運動場東側の鉄棒前に避難)。その後、津波を想定して、ライフジャケットを着用して十四山支所へ避難。

- ・3回目 1月16日(火)

休み時間中に震度5弱の地震が発生したという想定で、その場で一時避難した後、運動場に集合。停電のため校内放送が使えず、ハンドマイクでの指示を聞いて行動する訓練。

弥富市の「浸水津波ハザードマップ」によると、十四山東部小学校の校区は、地震発生30分後には東や北の地域で浸水が発生するとされており、1、多くの地域が2m以上3m未満の浸水の被害に見舞われることが予想されています。学校でも、さまざまなケースを考えながら、より安全な避難の仕方を考えていきます。

